

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 公益設備工業株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 【予定】の項目は1年以内に(〇年〇月実施)として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1 1. 持続可能な開発目標 SDGs	2 2. 民主主義と人権尊重 SDGs	3 3. 経済成長と社会的公正 SDGs	4 4. 環境問題 SDGs	5 5. すべての性別に対する平等 SDGs	6 6. 清潔な水と衛生 SDGs	7 7. 持続可能なエネルギー SDGs	8 8. 経済成長 SDGs	9 9. すべての性別に対する平等 SDGs	10 10. 清潔な水と衛生 SDGs	11 11. 持続可能なエネルギー SDGs	12 12. 経済成長 SDGs	13 13. すべての性別に対する平等 SDGs	14 14. 清潔な水と衛生 SDGs	15 15. 持続可能なエネルギー SDGs	16 16. 経済成長 SDGs	17 17. すべての性別に対する平等 SDGs	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有、実践している。	●		「建築設備工事と土木工事の技術を総合的に活かして、大切なステークホルダーのために貢献し、熊本に確固たる存在価値を製て永続的に継続する企業となること」を経営ビジョンとして社内で共有し、年度ごとに事業計画を策定して実践している。									8	9						17		
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		就業規則等の中に入コンプライアンス規定を定め、これに沿った行動を行なう仕組みを構築するとともに、コンプライアンス標語の唱和を始め、日常的な取組みを実践して社内への浸透を図っている。																16		
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に閑与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		コンプライアンス規定の中に従業員等の義務及び禁止事項として公正な競争を遂行することを定めるとともに、定期的並びに随時周知を図っている。											10						16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		コンプライアンス規定の中にコンプライアンス推進体制を定め、コンプライアンス統括責任者、コンプライアンス推進責任者、コンプライアンス推進員を配置している。																	16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		就業規則等の中に入リスク管理規定を定め、知的財産を含む情報の外部流出・漏洩がないよう取組んでいる。									8.2 8.3	9								16
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報管理規定、特定個人情報取扱規定を定め、具体的な対策等を策定して情報保護管理を行っている。																		16
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーとの対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		株主総会、取引先との打合せ、顧客からのフレーム対応等を具体的な機会としてステークホルダーとの意見交換を真摯に行い、株主満足度、顧客満足度、社員満足度の向上に取り組んでいる。																	16 17	
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●		コンプライアンス規定の中に公正な業務の推進について明文化しており、事業パートナー等と適宜意見交換会を実施し、管理の形骸化を防ぎ適正な対応を行っている。							5		8		10		12	13	14	15	16 17	
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●											9		11		13.1					16 17
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●										8	9									17
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●			1	2			5		8					12	13	14	15	16	17	
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制を整備され、社内で差別や人権侵害がないことを確認している。	●		就業規則等の中に入コンプライアンス規定、セクヨウルハラスマント防止規則等を定め、各種ハラスメントを防止する体制を構築するとともに、内部通報制度も制定して社内に差別や人権侵害がないことを確認している。		4.3 4.4 4.5	5.1 5.2 5.5				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3								16.1 16.2 16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		安全衛生規則等に沿っており、安全管理の向上に向けてミーティング等で注意喚起し、社外安全コサルタントによる安全パトロールを実施している。また各種安全機材等の導入・更新も積極的に実施している。		3					8.8											
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		再雇用者、既雇用者についても就業規則を定め、同一労働同一賃金の考え方に基づいて対応するとともに、各種休暇等に関する社員就業規則に準じて対応している。					5.5		8.5		10.2 10.3									
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためにワークライフバランスを推進している。	●		完全週休二日制で導入済みであるが、さらに年次有給休暇の取得推進や時間外労働の削減に努めるとともに、ワークライフバランスの推進を図っている。		3		5.5			8.5 8.8		10.3									
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		社員各自の状況に応じたスキルアップと各種国家資格の取得計画を立て、研修及び受験の機会を会社として公式に提供している。			4	5.5			8	9										
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		社員全員に対する定期健康診断に加え、40歳以上の社員については個人用マッピング診断を行い、社員の健診結果に努めている。また、新型コロナははじめとする各種感染症予防として、予防接種の実施など各種対策も会社施策として取り組んでいる。		3					8										17	
	18	【ダイバーシティ・経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		定年退職者の再雇用に加え再雇用期間終了後も引き続き雇用できる仕組みを導入済みであり、年齢制限のない雇用形態に取り組んでいる。		4.4	5.1 5.5			8.5		10.2 10.3									16.7	
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェーブ会議等を導入している。	●				3					8	9.1		11	12							
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		社員全員に専用PCを配布しており、経理・給与・労務管理等の共通業務はシステム化である。第2段階として建設作業に関する業務のDX化を推進するため測量・設計・構算・施工管理・完成処理等の業務に関するアプリケーションソフトを導入。更に、グループウェアを導入し、また、社内設備管理をオンライン化することで、リアルタイムでの会議室、車両の可視化が可能になり、設備利用の効率化に取り組みました。							8	9.1		11	12							
	21	【プライバシーポリシー】 ・プライバシーに認定されている。	●				3	4				8	9			12							

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 公栄設備工業株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 【予定】の項目は1年以内に[○年○月実施]として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																
						1 1 森林 保全	2 2 水の 循環	3 3 気候 変化	4 4 資源 循環	5 5 エネルギー と 資源	6 6 工業 生産 と 資源	7 7 気候 変化 と 生物 多様性	8 8 資源 循環 と 生物 多様性	9 9 資源 循環 と 生物 多様性	10 10 資源 循環 と 生物 多様性	11 11 資源 循環 と 生物 多様性	12 12 資源 循環 と 生物 多様性	13 13 資源 循環 と 生物 多様性	14 14 資源 循環 と 生物 多様性	15 15 資源 循環 と 生物 多様性	16 16 資源 循環 と 生物 多様性	17 17 資源 循環 と 生物 多様性
環境	22	【環境汚染予防】 -廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		工事に伴って発生した廃棄物は産業廃棄物処理法に基づいて適正に処理している。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1		
	23	【エネルギー】 -電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		運転実績報表中にガソリンの給油量と走行距離を記載し、燃費面で問題がないか適宜チェックするとともに、燃費の向上に努めている。老朽化した車両については使用目的に応じてハイブリッド車への更改(実績:1台)を図り、エネルギーの削減に取り組んでいる。						7.3							13				
	24	【温暖化対策】 -自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		簡易計算シートにより排出量を把握しており、事務所内の節電(エアコン開引き運転、昼休み消灯)やハイブリッド車の導入により排出の抑制に取り組んでいる。	2.4					7.2 7.3 7.8					12.4	13	14	15			
	25	【生物多様性】 -自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		工事現場へ低振動・低騒音建機類を導入している。					6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 -ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		工事に伴って発生した廃棄物のうち再利用可能なものについては極力リサイクルを図っている。社内で日常的に発生するゴミ類に関しても分別処理を行い、リサイクル化を図っている。						9.4				12.2 12.4 12.5		14.1	15				
	27	【水の管理】 -熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		公益財団法人熊本地下水財団の熊本育水会賛助会員となっている。	2.4				6.1 6.3 6.4 6.6 6.b				11.5			14.1 14.2 14.3	15		17		
	28	【環境に配慮した製品等】 -環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		土木工事において再生材の積極的利用を図るとともに、低騒音・低振動の建機類を使用している。					9.4				12.4 12.5	13	14	15					
	29	【食品ロスの削減】 -食品ロスの削減に取り組んでいる。	●			1	2			6.4						12.3		14	15		17	
	30	【緑の保全管理】 -壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17	
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 -高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善またはや再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる。	●		事務所、倉庫内の照明は全てLED化している。					7.1 7.2 7.3 7.8		9.4		11.5		13.1 13.3						
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 -“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●							6		9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13			15			
	33	【植林等の取組み】 -植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●							6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 -環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●												12.2 12.5		14					
	35	【環境に配慮した交通手段】 -電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●		老朽化社用車の更改にあたってハイブリッド車を導入している。(実績:1台)。						9.4		11.2		13.1 13.3							
	36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 -2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●							7.1 7.2 7.3 7.8		9.4		11.6 11.8	12.8	13					17.2	

更新

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト 事業者名: 公栄設備工業株式会社

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

チャレンジ項目記入数 7

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																			
						1 1 森林 保全	2 2 水の 循環	3 3 気候 変化	4 4 エネルギー と 資源	5 5 社会 不平等 と 不 満	6 6 不 平 等 と 不 満 の 解 決	7 7 人間 と 自然 の 関 係	8 8 気候 変 化 と 可 持 続 開 発	9 9 人間 と 自然 の 関 係	10 10 人間 と 自然 の 関 係	11 11 人間 と 自然 の 関 係	12 12 人間 と 自然 の 関 係	13 13 人間 と 自然 の 関 係	14 14 人間 と 自然 の 関 係	15 15 人間 と 自然 の 関 係	16 16 人間 と 自然 の 関 係	17 17 人間 と 自然 の 関 係			
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		当初の設計に関わらず、設備の安全性や品質向上に効果があると判断した場合は、設計者や施主と協議を行い、権力改善に取り組んでいる。								3.9				9			12.4					
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		バリアフリーの観点から事務室を扉や段差のないワンフロアとしている。											9.1	10	11.7					17		
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●						2.3 2.4					7.3	8	9		11.a	12.3	13	14	15		17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●										7						12.2	13.1			15	
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	老朽化した下水道の補修工事(管更生)を展開している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	42	【始めの農林水産業】 ・地域における生産官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に取り組んでいる。		●					2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2		14	15		17	
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		熊本市管工事協同組合の会員としてボランティア協定を締結し、活動を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	44	【防災・減災・レスポンス(自助)】 ・地域の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するためのリーダーシップを確認し、避難行動計画や事前防火対策を進めている。	●		災害時の一次避難所として利用可能な倉庫棟を令和2年度末に建設するなど、災害等に強い仕組みづくりに取組んでいる。							4						11.5		13.1			16		
	45	【防災・減災・レスポンス(共助)】 ・地域防災の新しい手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●	熊本市管工事協同組合の会員として防災協定を締結している。また、地域消防団に所属する社員(4名)、熊本市消防局が消防団活動に従事した際は活動時間及び期間を特別休暇としている。	1.5		3	4							10.2	11.5		13.1			16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1						
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●	年度当初の事業計画説明会においてSDGsに関する目標等を説明し、具体的な方向性や考え方について啓発を行っている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
	48	【インターナンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターナンシップの受入れ、職場間連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●								4			8.6		10.2						17		
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●							4.4				8.5 8.6								17		
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行なうなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●					2		4.3 4.4 4.5				8.6		10.2		12	13	14	15	17		

基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的な取組みを記載のうえ、提出してください。